

書くこと部会【仲多度・善通寺支部】

生きて働く力を育む国語教室

～言葉による見方・考え方を働かせ、深まる学び～

1 研究概要

2 実践

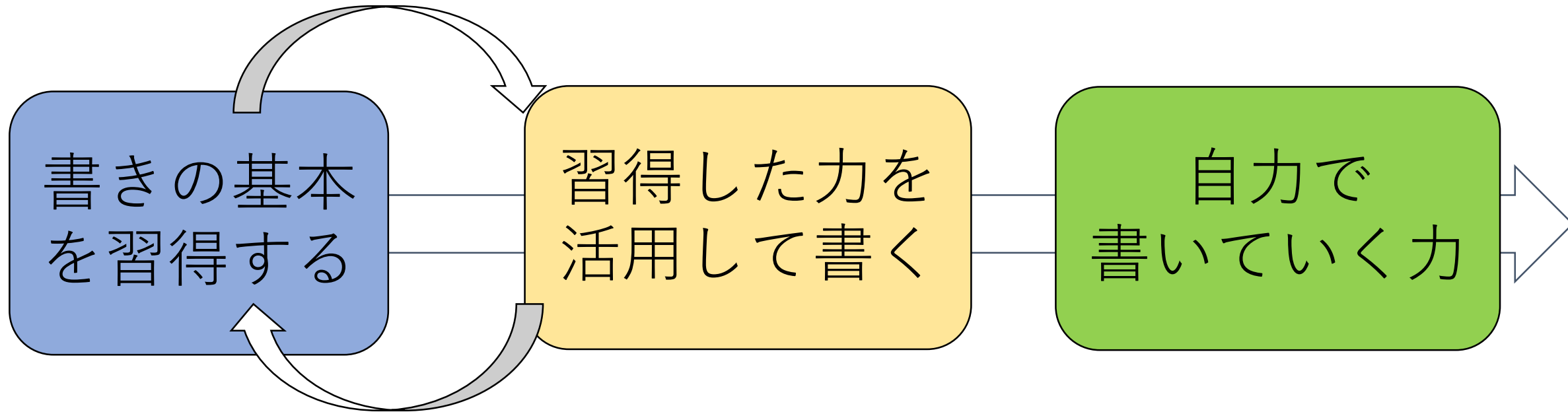
**多度津町立多度津中学校
善通寺市立東中学校
まんのう町立満濃中学校**

3 成果と課題

仲多度・善通寺支部



研究概要

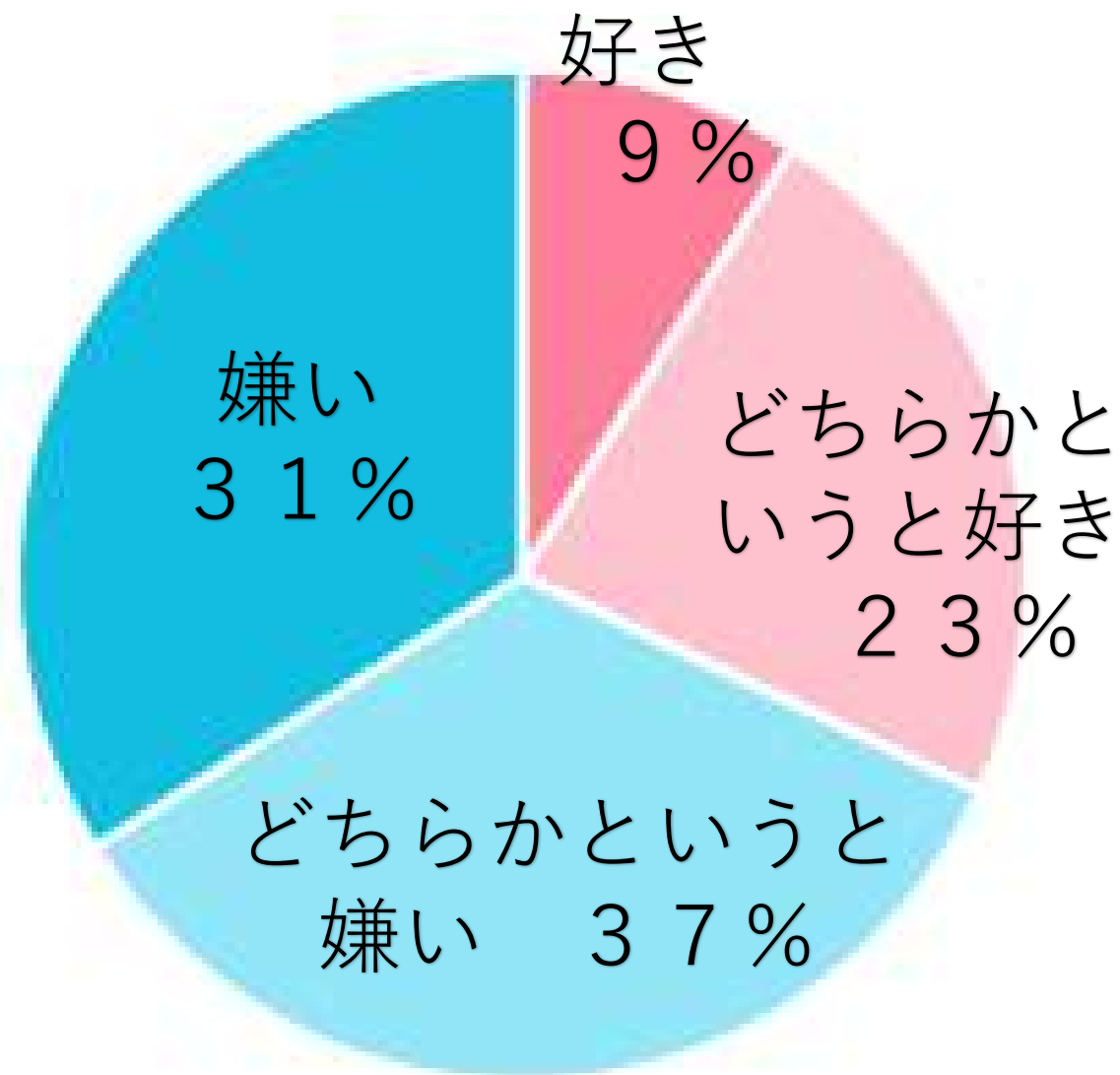


言葉による見方・考え方を働かせて

全体の課題

Q.書くことは好きですか。

- 何を書いていいかわからない
- 言葉が出てこない
- 書くのが面倒くさい



《1年生対象》

実践①



多度津町立多度津中学校

「根拠を示して説明しよう」

光村図書 1年

知識・技能 (2) イ
書く (1) イ、ウ (2) ア

ねらい

- 引用や考察などの方法を学ばせる。
- 基本を習得することで書けることを実感させる。

① 感想文と考察の違いを知る。

資料 ②

料理を作りました。少ししょっぱかったです。
次はもっとおいしく作りたいと思います。



料理を作りました。少ししょっぱかったのは
塩が多かったからです。分量を正しく量って
入れなかったことが要因です。次は上記の点
を守り、もっとおいしく作りたいと思います。

② 引用の仕方を学ぶ。

出典の示し方(⑥参考文献の書き方)

本・資料

書名、著者名、発行所名、発行年、引用部分のページなどを示す。

例：「国語のススメ」 中山佳昭 多度津出版 2022年刊 (p.15)

新聞

新聞の名称、発行所名、発行日、朝刊・夕刊の別などを表す。

例：中山佳昭 「みんなの学校~楽しく充実したクラスとは~」
『香川新聞』2022年4月29日朝刊

ウェブサイト

サイトの名称とアドレス、アクセス日を示す。

例：「プレゼンテーションバンザイ👏」2022年11月17日閲覧
URL <https://www.presentation.banzai.jp/nakayama/baseball/japanese/>

留意点

図、表、グラフ、絵や写真を引用するときも出典を示すこと！

引用の仕方（教科書p.64~66参照）

・引用文

引用部分を「」でくくって、自分の文章と区別すること。**誤字・脱字がないように**、正確に抜き出す。

例：「国語のススメ」を書いた中山氏は「**何事も全力であることが大切。やるべきことをやるべき時にできる人は信頼を得られる。**」と述べている。

・出典の明記

著作権に留意し、本や資料の名称を明確に示す。

・留意点

引用部分は必要最低限の範囲に絞る。

③ 文末表現の違いを知る。

資料 ③

自分の考え・意見

・推論、予測

「と考えられます」「と予想/推測されます」

「と見られます」「かもしれません」

「おそらく～でしょう」「～のはずです」

「～の可能性ががあります」など

調査・研究から分かったこと
事実・結果

「确实です」「間違いありません」

「と言えます」「明らかです」

「に違いありません」 など

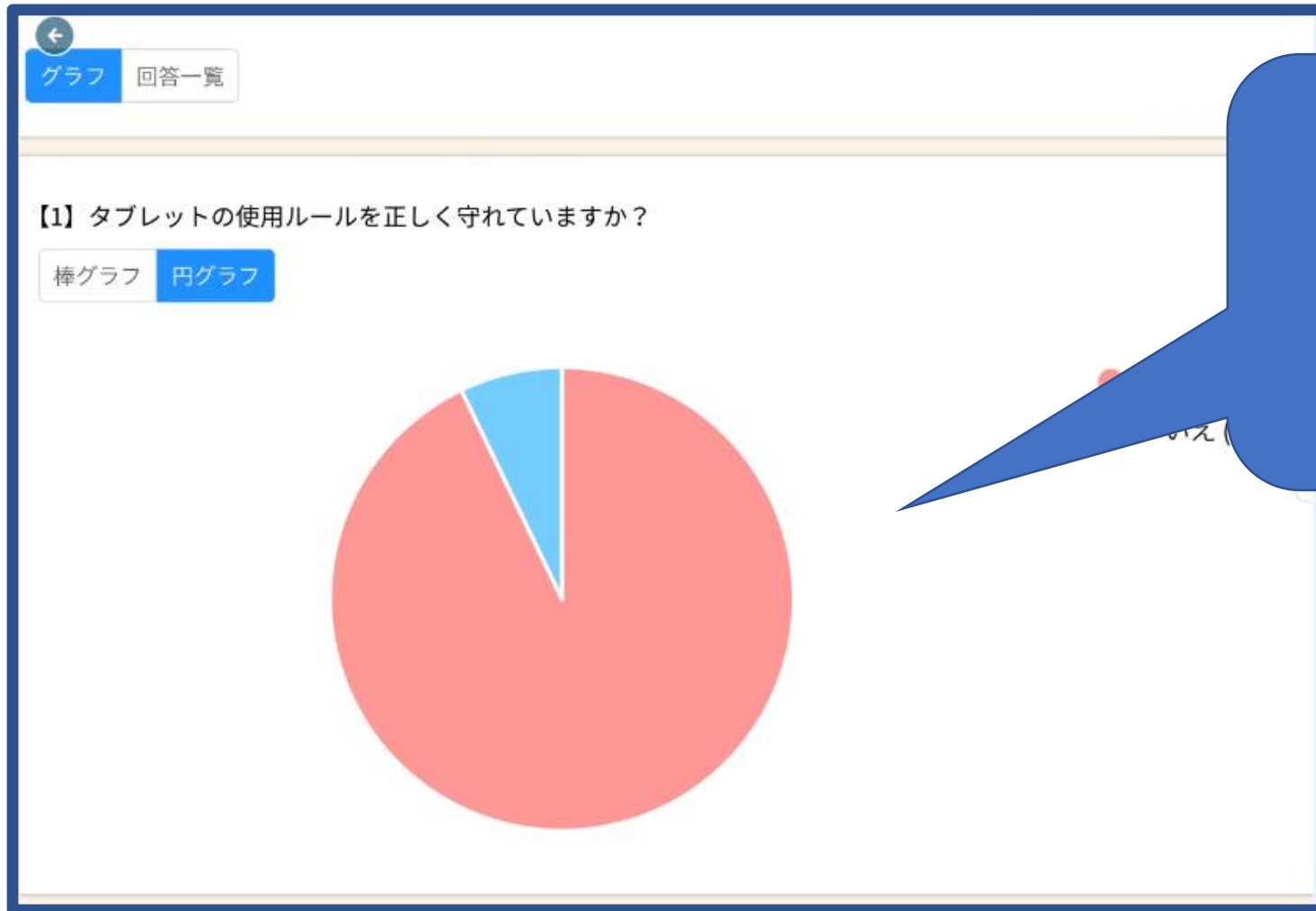
引用

(…と) 述べている (…と) 書いている

(…と) 言っている (…と) 論じている

(…と) 考えている (…と) 指摘している

④ 課題を決め、アンケートを取る。



アプリ
「ロイロノート」
を使用

- ⑤ 書籍・新聞・ウェブサイトで
情報収集する。
- ⑥ ロイロノートでまとめる。
- ⑦ 発表する。



研究発表班
発表の順番は、発表の順番に
1. 発表の順番は、発表の順番に
2. 発表の順番は、発表の順番に
3. 発表の順番は、発表の順番に
4. 発表の順番は、発表の順番に
5. 発表の順番は、発表の順番に
6. 発表の順番は、発表の順番に
7. 発表の順番は、発表の順番に
8. 発表の順番は、発表の順番に
9. 発表の順番は、発表の順番に
10. 発表の順番は、発表の順番に

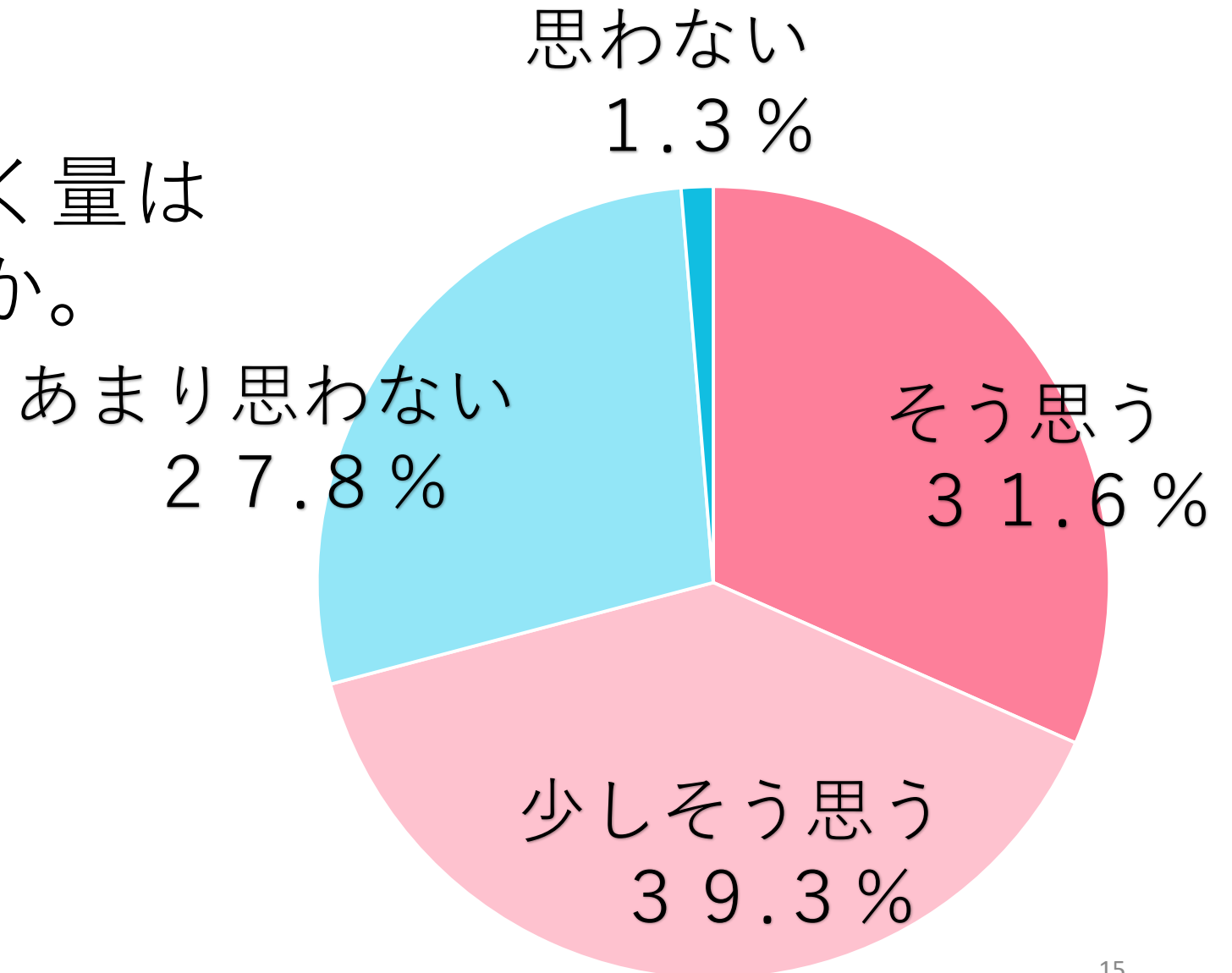
研究発表班
発表の順番は、発表の順番に
1. 発表の順番は、発表の順番に
2. 発表の順番は、発表の順番に
3. 発表の順番は、発表の順番に
4. 発表の順番は、発表の順番に
5. 発表の順番は、発表の順番に
6. 発表の順番は、発表の順番に
7. 発表の順番は、発表の順番に
8. 発表の順番は、発表の順番に
9. 発表の順番は、発表の順番に
10. 発表の順番は、発表の順番に

みんなの生活が、さっさと元気になるように、授業をしよう！

十二月十九日 月曜日

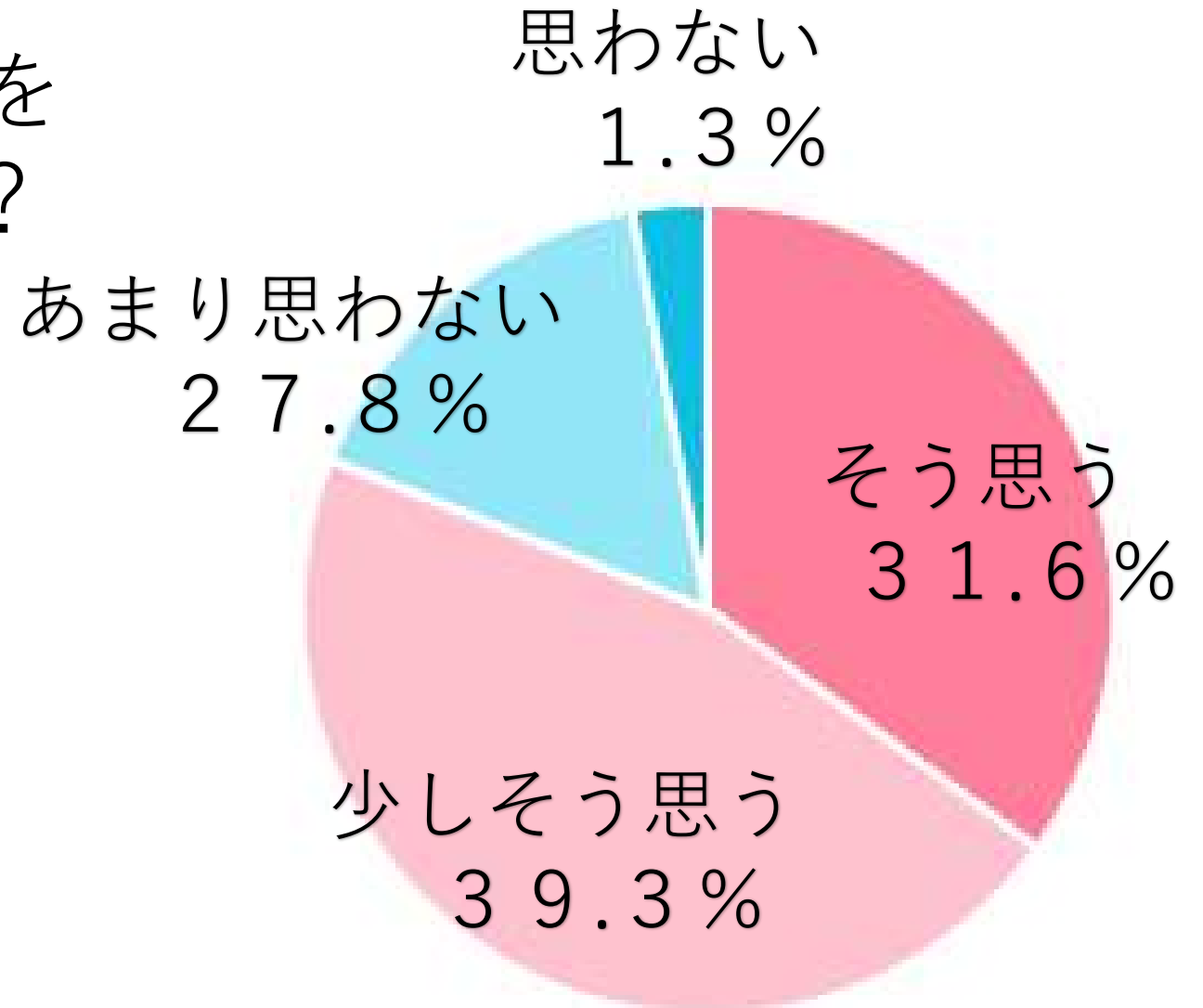
成果

Q. 授業を通して、書く量は増えたと思いますか。



成果

Q. 文末表現や引用の仕方を意識して書けましたか？



1年5組で「タブレットの使用ルールを正しく守れているか」というアンケートをとった結果28人中26人93%が「はい」2人7%が「いいえ」という結果になりました。この事から、5組では大半の人がルールを守れていることがわかりました。ですが、2人の人が守れていなく、ひよっとしたら「はい」と答えた人の中にも守れていない人がいるかも知れません。だから、まずはルールを確認し全員が守れるようにすることが課題だと思いました。

根拠がない

实践②

善通寺市立東中学校



「随筆二編」

光村図書 1年

知識・技能（1）ウ
書く（1）イ、ウ（2）ウ

ねらい

構成や描写を工夫することで
「書く」楽しさを実感させる。

① 自分の体験を思い出し、 具体的に書き出す。

5
W
1
H

いつ・・・ バスケの選手権
誰が・・・ 友達か
どこで・・・ 市民体育館
何を・・・ 声をかけてくれた
なぜ・・・ 2回戦で負け悔しくて
仕方なかった時、最後の
写真撮影をした。
どのように・・・ 泣きながら
背中をさす、笑、
くれた



トランプゲーム

② 材料を基に作文を書く。

小学生のバスケの選手権で、苦楽を共にしてきた親友の言葉が忘れられない。私は試合のスタメンとして出て、今までの練習を生かして自分のできる限りのことはした。でも負けちゃって、悔しくて悔しくて涙が止まらなかった。試合の最後には相手チーム、審判にあいさつをし、自分のチームのベンチに帰ってくる。負けたんやなと実感した。そして最後の写真撮影をした。私は笑えなかった。そんな時、親友が、「最後は笑って終わろう。」と言ってくれた。ああ、終わるんやな、なんで勝てんかったんやろ、自分もつらいはずなのに、私のことを気にかけてくれてありがたうと思った。そして、互いに泣きながら背中をさすって笑った。

③ 随筆二編を読み味わう。

空

北陸の山奥に住んだのは、二十歳頃からの憧れであった雪のそばにいたかったせいかもしれない。二十数軒という小さな集落の中の空き家を借りて住んでいた。

最初の冬である。軒までの雪に埋もれて過ごしていたのだが、ある日、外に出ると、一面に小雪が舞っている。一面の雪なのに、辺りが妙に明るい。なんか変だなと、ふと空を見上げると――
そこには、灰色の重たい雲はなく、抜けるように青い空があった。

ああ、これが「風花」というものか！ 私は、雪を浴びながら空を見上げていた。深く濃い冬の青空が、真っ白な雪を生み出している。としか思えない。後から後から、雪は見えない高みで生まれ、際限もなくひらひら・ひらひらと舞い降りてくるのである。目が回るようだ。雪の白さに引き立てられて、空の青さは、いよいよ濃い。私は、あんな美しい「青空」を見たことがなかった。

えんぼう

工藤 直子

忘れられない言葉群をたどってみると、最も古い記憶の中から現れるのは「えんぼう」という言葉だ。

四、五歳の頃、父と私だけで暮らす時期が二、三年あった。たった二人の日々である。仕事から帰った後の父、休日の父に、まとわりつき、家の中でも父の後をくっついて回った。

朝夕の日課である散歩の時間は、至福のひとときだった。のんびりした父の気配に包まれて、安心していられたから。着物姿の父のたもとや、差し出してくれた人さし指を、電車のつり革のようににぎりしめていれば、何も怖いものはなかった。

小学校の校長をしていた父は、学校間の会議などがあるらしく、時々、日帰りの出張などしていた。家の中でも、くっついて回る私である。出張の日の父の気配の違いを見逃さない。

そんな日の父は、透明な膜に包まれている。そしてナフタリンの匂いがする洋服を、きちんと着始める。私は息がせわしくなっていて、必ず同じ質問をする。

「父ちゃん、どこ行くの？」

父も必ず同じ答えを返す。「えんぼう、えんぼう」。天井を眺めながら、歌うように「エンポーエンポー」と繰り返す父の姿はまぶしく、非日常的であり、私は、連れていってもらえない「えんぼう」というところに、深く深く憧れた。そしてその、まぶしい晴れやかな「えんぼう」に、いつか必ず行きたいと思っていた。

印象に残った
語句や表現に
線を引く

③ 随筆二編を読み味わう。

一面の雪
理由 真・白な
景色を想像
できるから。

抜けるようにま月い
空

理由 雲つない青空

友 空の青さは
いよいよ濃い

理由 青さが伝わる
表現だから

友 あんな美しい
「青空」を見たことが
なかった

友 がもしれない

至福のひとつとき

理由 本当に楽しかった
のだなと思える
表現だから。

のんびりした父の
気配に包まれて

理由 優しさや、のんびり
さが伝わっている
と思ったから。

まぶしい晴れやかな

理由 あみかれている
からこそ、まぶしく
見えるのだという
気持ちの表現
されているから。

友 最も古い記憶

友 電車のつり革

えんぽうり遠方

エニポリーあみかれ

線を引いた理由や感想を書く

④ 作文を随筆に書き換える。

- 体験を**詳しく思い出す**。
(会話、周りの様子や情景、五感)
- 体験の**意味**を見つめ直す。(意味づけ)
- **構成**を考える。(現在→過去など)
- **書き出し**を工夫する。
(枠組みから、描写から、会話から、自分の考えから)
- **表現や描写**を工夫する。
(表現技法、擬音語・擬態語、接続する語句、言い換え)

⑤ 随筆を読み合い、印象に残った
表現や感想を書く。

生徒の変容

例① 表現の工夫

人が多く、アトラクションやイルミネーションなどが
きれいすぎて・・・



「目をうたがうほどの人の多さと」

「言葉を失うほど美しく、私たちへ『また来てね』って
言ってくれるように思えた。」

生徒の変容

例② 書き出しの工夫

小学生のバスケの選手権で、苦楽を共にしてきた親友の言葉が忘れられない。



「『最後は笑って終わろう。』冬の晴れやかな青天を見ると思い出すのは、この言葉だ。」

完成した随筆作品

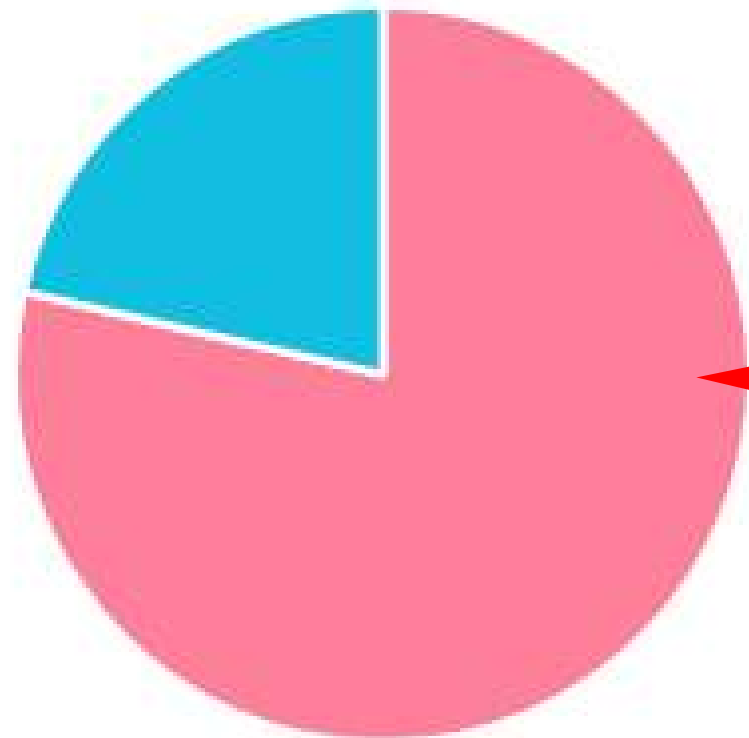
読み手を意識した
分かりやすい文章

迎	て	と	、	そ	な	な	る	そ	仲	言	と	が	た	二	青	
え	い	肩	最	う	か	青	と	し	間	葉	涙	'				
て	る	を	後	思	'	空	'	て	の	が	が	敗	最			
く	。	さ	は	'	た	の	雲	'	大	出	染	れ	後	の	見	後
れ	あ	す	笑	て	し	も	一	体	き	な	み	た	ま	選	る	は
た	の	'	'	い	。	と	つ	育	な	い	た	し	で	手	と	笑
の	青	た	て	る	こ	で	な	館	背	。	エ	'	権	思	'	
か	天	。	終	と	ん	最	い	に	中	た	ニ	し	自	。	い	て
も	は	涙	わ	'	な	後	ほ	あ	は	だ	フ	よ	分	ど	出	終
し	'	と	ろ	仲	終	の	ど	い	丸	'	。	ん	の	き	す	わ
れ	私	笑	う	間	わ	写	晴	さ	く	涙	。	ぼ	ベ	ど	の	ろ
な	達	顔	'	が	リ	真	れ	つ	小	が	ム	リ	ス	き	は	う
い	の	が			方	撮	や	を	さ	ぼ	。	と	ト	す	'	。
。	最	太			を	影	か	し	く	ろ	胸	し	を	る	こ	冬
	後	陽			す	を	だ	て	な	ぼ	が	た	尽	中	の	の
	を	に			る	し	'	空	'	ろ	ふ	ベ	く	'	言	晴
	明	照			ん	た	た	を	て	と	さ	ン	し	試	葉	れ
	る	ら			だ	。	。	見	い	落	が	チ	続	合	だ	や
	く	さ			な	笑	そ	上	た	ち	り	。	け	に	。	か
	出	れ			。	え	ん	げ	'	'	'	汗	た	出	ミ	な

資料 ⑧

成果

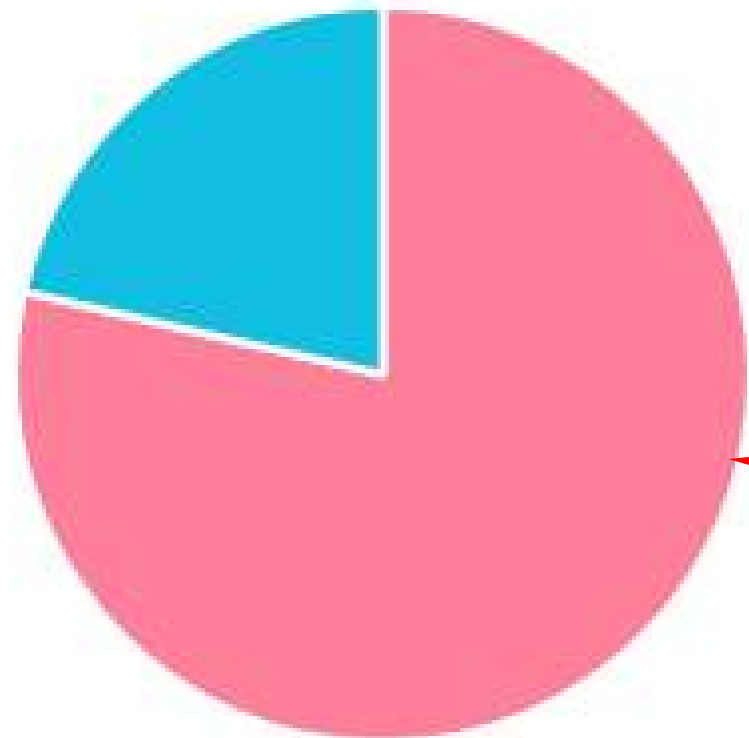
Q. 構成や書き出しを工夫することができましたか。



はい 78.6%

成果

Q. 表現を工夫することができましたか。

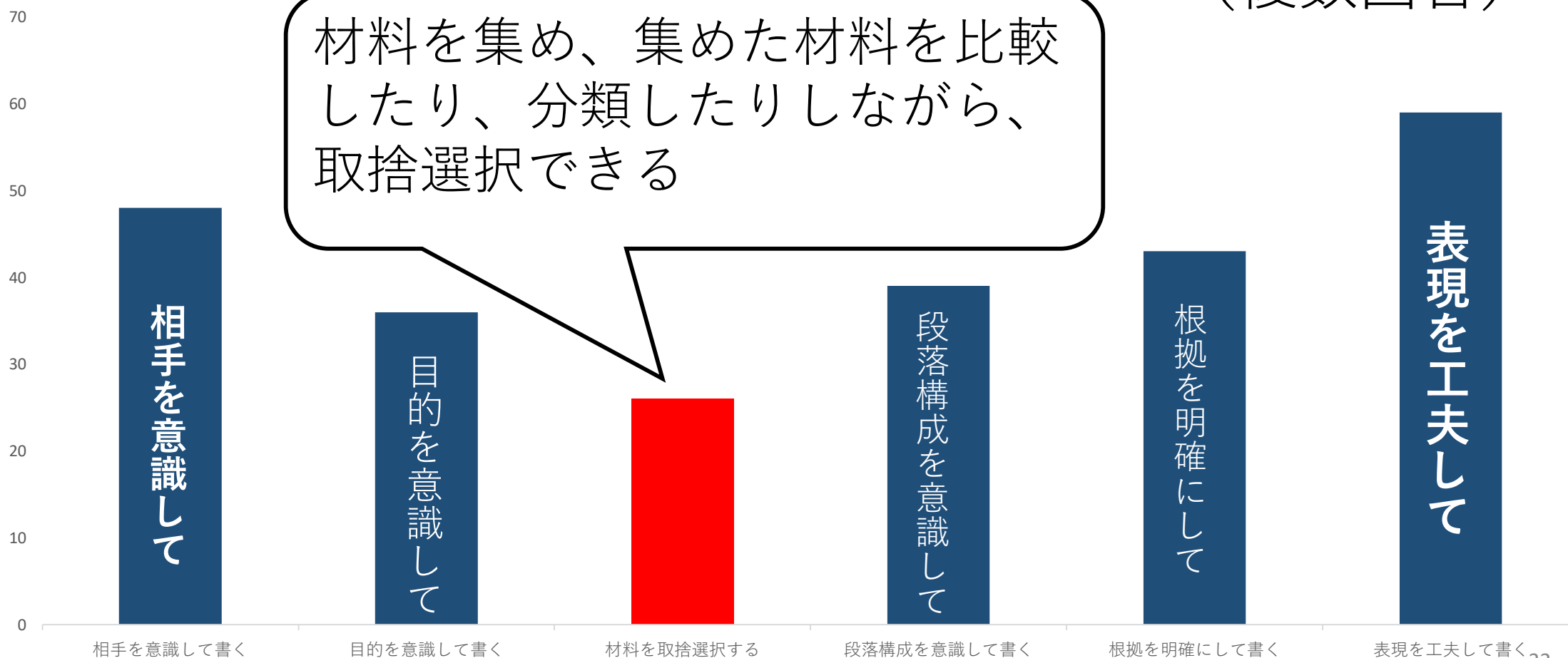


はい 78.6%

課題

Q. 1年間の「書く」活動でできるようになったこと

(複数回答)



実践③



まんのう町立満濃中学校

『月夜の浜辺』 中原中也

光村図書 2年



ねらい

- 一つ一つの言葉からイメージされる作品の世界観に迫らせる。
- 構成や描写を工夫して、創作する楽しさを実感させる。

① 中也の心情を読む。



中原中也「月夜の浜辺」 / 遥奈
(You Tube)

② 文章の種類を変える。

YOASOBI

若者に大人気のアーティスト。
小説から楽曲を制作している。

小説 → 歌詞

詩 → 小説

小説の素材集めのため、具体的に

<p>① 拾ったお宝はほんとうのお宝か 四つ穴のト円多くらいい大 さこのガラス朝顔のむしを ボク...</p>	<p>9月の形 満月</p>	<p>② 主人公が二にやまを 見よかてくろりたん分親を ぼろろくろりたん分親を ぼろろくろりたん分親を</p>	<p>の田舎、昭和の世、又お宝を たのむにやまを</p>	<p>③ どんなお宝か、お宝を たのむにやまを</p>
<p>④ お宝を たのむにやまを</p>	<p>⑤ 主人公の服装は、人物 お宝を</p>	<p>⑥ 主人公の服装は、人物 お宝を</p>	<p>⑦ 主人公の服装は、人物 お宝を</p>	<p>⑧ 主人公の服装は、人物 お宝を</p>

小説の設定を具体的に考える。

コラボノート

ページ ⚙️

- 11番 1
- 12番 2
- 13番 4
- 14番 2
- 15番 5
- 16番 3
- 17番 1
- 18番 1
- 19番 3
- 20番 4
- 21番 5
- 22番 1

選択して読める

23番 廣田愛果

「波の音？」

顔を上げるとそこは知らない浜辺であった。またやってしまったと僕は思った。この中原中也、愛する息子の他界、妻と離婚、拳句その妻は僕の親友と駆け落ちといった悪夢を体験した。あの日以来僕は夜にふらっと出歩くようになってしまった。

始めは近所をふらつく程度だったものが距離が伸び、今日ついに知らない町へ来てしまっていた。どうしようかと思つた時、波打ち際に輝く何かがあった。近づくと、それは一寸もない大きさのガラスのボタンだった。なぜかはわからないが、僕はボタンを拾っていた。

「痛っ」

指先から血が滲む。拾ったそれをまじまじと見てみると、欠けていた。

「何かから落ちたのか？」

欠けて落ちたか、落ちて欠けたかのボタンにそう呟いた。なぜだか捨てる気になれない。僕はそのボタンを袂に入れてみた。

ボタンを入れてから少し考えた。欠け落ちたボタン、駆け落ちされた僕。傷物のボタン、傷心した僕。知らない浜辺にあるボタン、知らない浜辺を彷徨う僕。そうか。

「だから捨てられないのか。」

このボタンはどこか僕の様で、だから捨てるに忍びなくなってしまうのだ。指先には海水が沁み、心にも何かが沁みている。

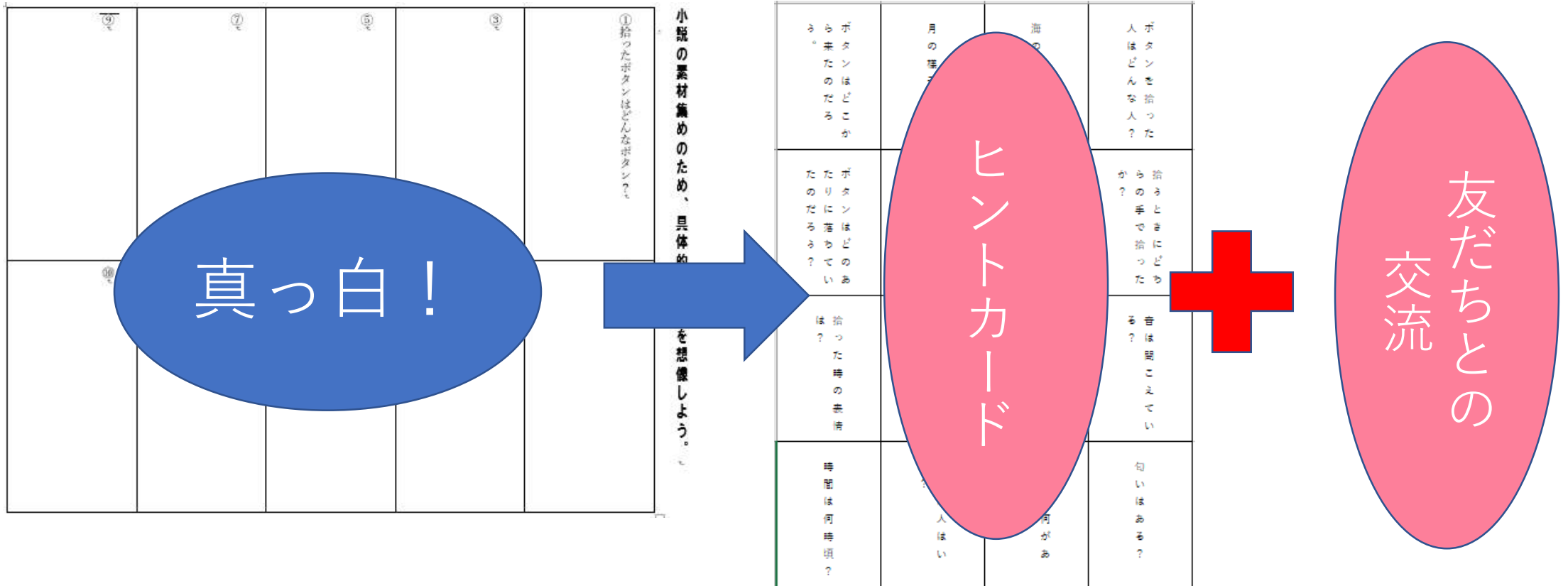
「やて、帰るか。」

- テキスト
- 文字
- きいろ
- ピンク
- みどり
- あお
- むらさ
- 下書
- 絵・図
- まなび

書く抵抗 減

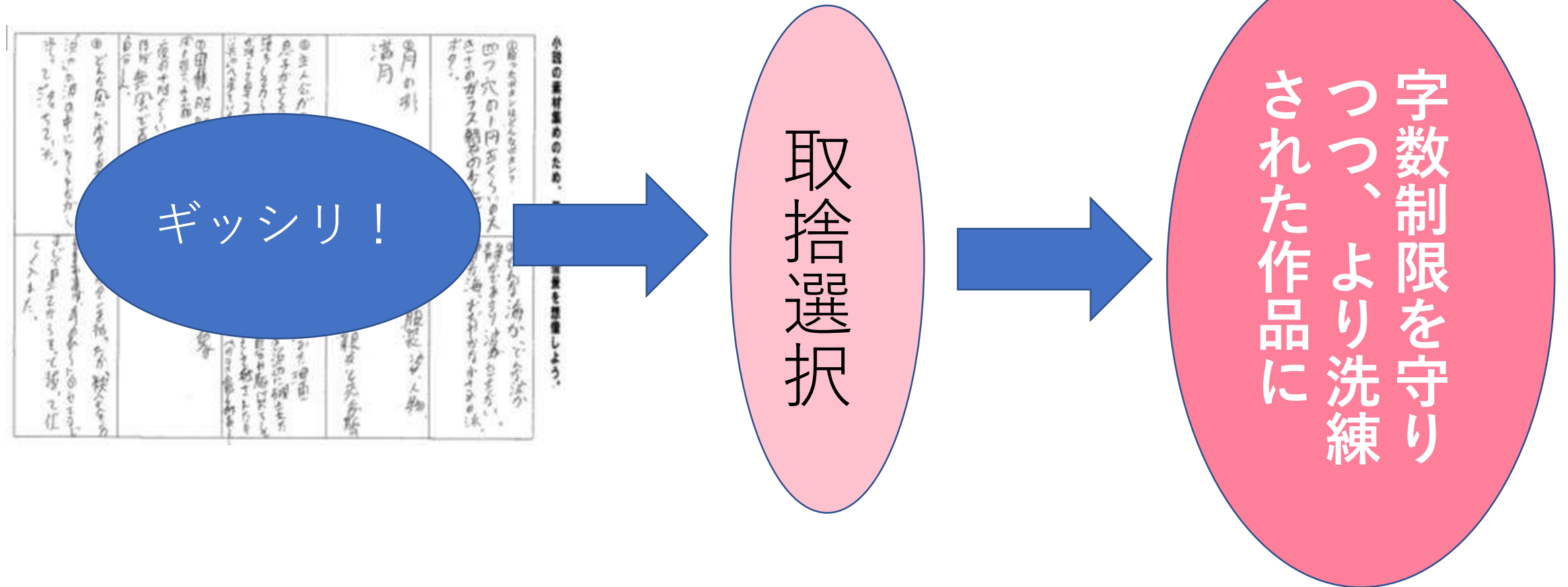
生徒の変容

例① ことばからイメージを広げられない生徒



生徒の変容

例② 広げたイメージを全て使おうとした生徒



成果

- 広げたイメージを
取捨選択する力がついた。
- 創作意欲が高まった。

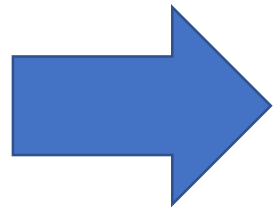
自分の好きなアーティストでも、授業で
やったようなことをしてみたいと思った。
(振り返りより)

課題

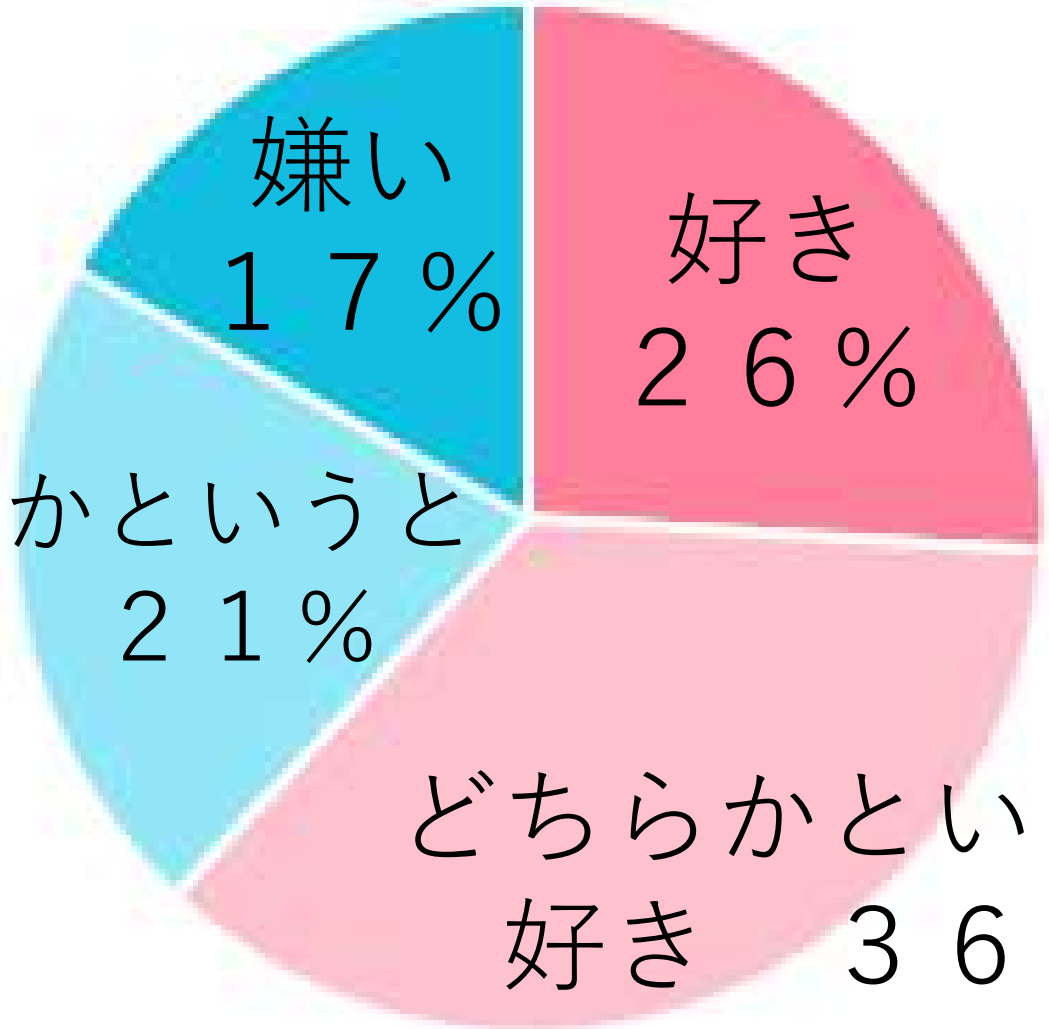
より良い作品にするために
推敲する力をつける。

全体の成果

Q.書くことは好きですか。



どちらかという
と嫌い 21%



どちらかという
と好き 36%

《2年生対象》

1年
1学期

必要な量が書けるようになった。



1年
3学期

構成や描写を工夫できるようになった。



2年
2学期

取捨選択しながら
まとめられるようになった。

全体の課題

使用したアプリ

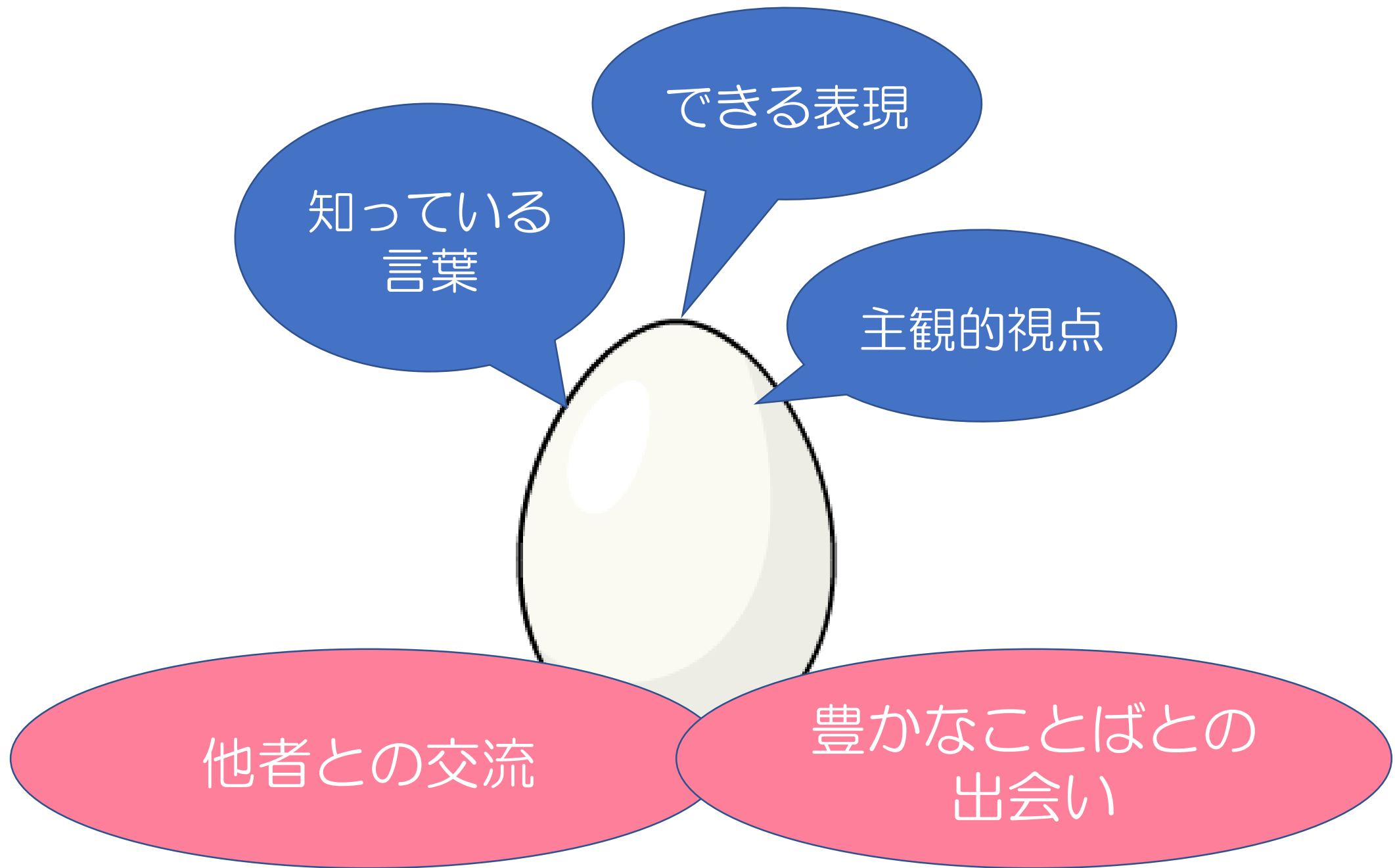


書きの基本
を習得する

習得した力を
活用して書く

自力で書いて
いく力

より良い表現を
目指して





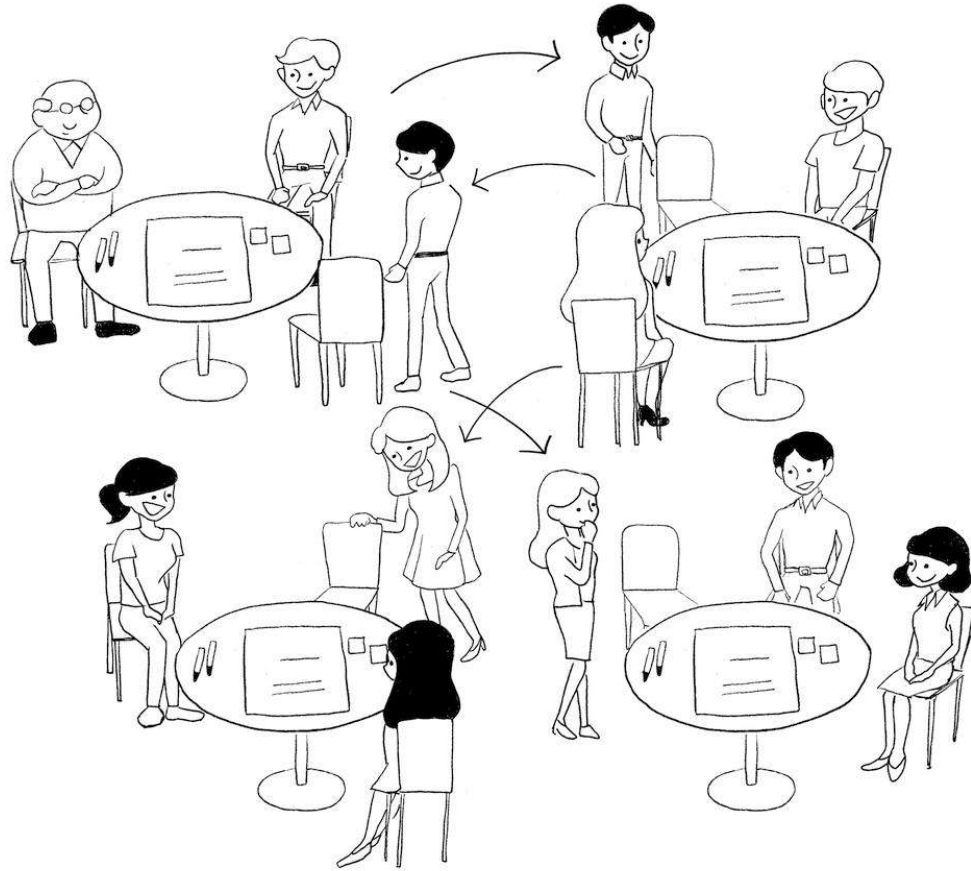
E N D

本日の研修は

ワールドカフェ

- 1 4、5人（原則4人）一組になってテーブルを囲む。テーブルには模造紙を置き、アイデアを書き込んでいく
- 2 20～30分間の話し合いを1ラウンドとし、ラウンドが変わるたびに一人を残して別のテーブルに移る
- 3 残った一人は移動してきた参加者に今までの話し合いについて説明。これを2～3ラウンド繰り返す

カフェのテーマ



1 発表内容の整合性

2 発表・質疑の際に必要な資料

3 予想される質問

4 パワポレイアウト・発表原稿文言

カフェのテーマ

- 1 発表内容の整合性**
- 2 発表・質疑の際に必要な資料**
- 3 予想される質問**
- 4 発表資料レイアウト・発表原稿文言**